



# 福島中だより

令和7年度  
福島中学校通信  
11月28日(金)  
第8号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)

【生徒会スローガン】日 笑(にっしょう)

## 未来を切り開く生徒の育成

福島町立福島中学校長 助 川 剛

初雪も降り、朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。報道ではかなりの積雪を記録している地域もあるので、今年の冬は雪が多いのだろうかと心配をしているこの頃です。

10月から12月は「学習活動の充実」、「学習活動の成果を発表し、交流する」時期となります。その活動の中には、教科を横断して将来の職業について考えていくキャリア教育活動や、特設授業があります。

10月中旬の3年生職場体験学習(福島町内)、2年生職場訪問学習(函館周辺中心)、10月30日の1年生キャリア講話(福島出身で地元で働いている方の話)を今年度も開催しました。実際に働かせてもらったり、様子を見たり、体験談を聞いたりと非常に貴重な「学び」をさせてもらいました。調べればわかる部分もありますが、働いている方の仕事に対しての思いや考え方を聞くことは、生きた記憶として残ります。この学習活動の中で、興味を持てる、やりがいの持てる仕事に出会うことができればよいと考えています。また、「働くことの意義」や「やりがい」を感じ取ってくれればと願い、学習を企画しています。

11月20日には、福島町議会議員 溝部 幸基 様、副議長 平野 隆雄 様、議会運営委員長 平沼 昌平 様の3名の福島町議会議員の方に地方自治、町議会の役割について、3年社会科(公民)の特設授業をしていただきました。福島町民の生活をよりよくするために議会や行政がどんなことをしているかについて、資料を使いながらわかりやすく授業をしていただきました。議員としての思いや議会を運営している意義を、議員の皆様から聞くことができた貴重な「学び」でした。これを機に町政に関心を持ち、成人後に自分たちで町を活性化してほしいと願います。

学習指導要領の前文に生徒を「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるようにする」と書かれています。本校の重点教育目標の「未来を切り開く生徒の育成」の部分は、それを受けて設定しました。この目標を達成すべく、学習活動を推進しております。上記の学習を実施するにあたっては、福島町議会、福島町教育委員会、各事業所、保護者、地域の方々に多大なるご協力をいただきました。ありがとうございます。

これからも本校生徒を「未来を切り開く」人材に育てるために、お忙しいとは思いますが、本校の教育活動にご助力をお願いいたします。



生徒の活躍のようすは、福中ホームページ内ブログでご覧いただけます。